

平成 30 年度 学校運営方針

1 学校の教育目標

豊かな心を持ち 主体的に活動する児童の育成

○よく考える子 ○助け合う子 ○心も体も元気な子

2 本年度の重点目標

目当てをしっかりともち、他と関わりながら自分の力を伸ばしていく子供の育成

- ② 深め合う学び …(知)考えを伝え合い、ともに伸びていく学習
- ③ 信じ合う心 …(徳)相手の立場や気持ちを考えた行動
- ④ 鍛え合う仲間 …(体)強い心、たくましい体、よりよい生活習慣

3 学校運営の方針

「明日も楽しみ！安心して通える学校」(子供も、教職員も、保護者も)

Enjoy & Teamwork (仲間と共に伸びていこう)

学校生活の中で自分の成長を実感できるようにすることで、互いに認め合い、友達と共に主体的に楽しみながら物事に取り組むようにする。

(1) 全ての子供が互いのよさを認め、目標に向かって学ぶことができる学校づくり

- ① ユニバーサルデザインの視点に立ち、個に応じた支援を行い、子供たちが「分かった」「できた」「やってみよう」と思える授業づくりに努める。
- ② 相手の立場や気持ちを考えた行動ができるように「道徳教育」の充実を図る。
- ③ 一人一人が活躍できる多様な活動の場を工夫し、振り返りの場を大切にすることで、自己存在感や自己有用感を感じることができるようにする。

(2) 教職員が一つのチームとなって力を合わせる学校づくり

- ① 全教育活動にチームで取り組む体制を整え、全ての子供を全ての教職員で見守り、支援していく。
- ② 「よくわかる！伏木小学校」(伏木小学校スタンダード)を共通理解し、全教職員が統一した指導を行う。
- ③ 教職員各々の専門性や個性を生かして、協働的に教育活動に取り組む。
- ④ 危機管理意識をしっかりともち、安心・安全な学校環境づくりを進める。

(3) 家庭や地域社会から信頼される学校づくり

- ① 伏木の歴史や風土、自然や人情を生かした学習活動を推進し、伏木を知り、伏木が大好きで進んで地域の活動に参加できる子供を育てる。
- ② 教育活動の様子や成果を積極的に発信、公開し、地域社会に開かれた学校を目指す。